



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場会社名 株式会社システム・テクノロジー・アイ 上場取引所 東  
 コード番号 2345 URL http://www.systech-i.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松岡 秀紀  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部長 (氏名)内山 富士子 (TEL) 03 (5148) 0400  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	489	△5.8	△11	—	△14	—	△22	—
26年3月期第2四半期	519	16.3	4	—	3	—	0	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △22百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△16.66	—
26年3月期第2四半期	0.67	0.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,001	788	78.3
26年3月期	1,024	820	79.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 784百万円 26年3月期 815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	964	△9.5	△33	—	△39	—	△48	—	△36.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	1,336,700株	26年3月期	1,336,300株
27年3月期2Q	2,178株	26年3月期	2,178株
27年3月期2Q	1,334,478株	26年3月期2Q	1,333,122株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成26年10月29日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策により緩やかな景気の回復基調が続いております。

Learning事業及び人材紹介・派遣事業においては、売上高及び利益とも計画通り推移いたしました。前期より展開している新規分野である医療分野の人材紹介事業では、CRC（治験コーディネーター）に特化した求人サイト「CRCJOB <http://crcjob.jp/>」を平成26年7月にオープンし、医療業界向けの人材紹介事業の更なる拡大に注力いたしました。平成26年10月には、臨床工学技士に特化した求人サイト「臨床工学技士JOB <http://cejob.jp/>」もオープンしております。

iLearning事業においては、第1四半期より引き続きシンガポール、マレーシアへのペーパーレス研修の販売準備活動に注力いたしました。iLearning事業の主力製品である企業向け社員総合学習システム「iStudy Enterprise Server」関連につきましては価格競争が激化し、新規案件の成約が落ち込んだことにより、売上高及び利益が計画を下回りました。

その結果、売上高489百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失11百万円（前年同期は4百万円の利益）、経常損失14百万円（前年同期は3百万円の利益）、四半期純損失22百万円（前年同期は0.9百万円の利益）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

## [iLearning事業]

iLearning事業におきましては、企業向け社員総合学習システム「iStudy Enterprise Server」関連の価格競争が激化し、新規案件の成約が落ち込んだことにより、売上高が計画を下回りました。利益につきましては、収益の基盤となる「iStudy Enterprise Server」の売上高が計画を下回ったことと、海外向けペーパーレスシステムへの先行投資により営業損失が増加いたしました。

その結果、売上高192百万円（前年同期比13.2%減）、セグメント損失36百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

## [Learning事業]

Learning事業におきましては、内定者向け研修及び情報処理試験関連、定額制研修「SEカレッジ」等、IT技術者向けの研修が好調に推移いたしました。

その結果、売上高196百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益13百万円（前値同期比7.9%減）となりました。

## [人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業におきましては、IT技術者向け業務請負・派遣売上高が減少したものの、収益性の高い医療系人材紹介が好調に推移し売上高は前年同期に比べ減少したもののセグメント利益は、大幅に増加いたしました。

その結果、売上高100百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益10百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて、22百万円減少し1,001百万円となりました。これは主に、現金及び預金34百万円の減少、前払費用10百万円の増加によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べて8百万円増加し212百万円となりました。これは主に、買掛金7百万円、未払金5百万円の減少、前受収益23百万円の増加によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて31百万円減少し788百万円となりました。これは利益剰余金31百万円の減少によるものであります。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて44,842千円減少し、390百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、21百万円（前年同四半期は2百万円の支出）となりました。これは税金等調整前四半期純損失14百万円、仕入債務の減少による支出7百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、13百万円（前年同四半期は10百万円の支出）となりました。これは固定資産の取得による支出3百万円、定期預金の預入による支出10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、9百万円（前年同四半期は0.4百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払いによる支出8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、第2四半期の業績を踏まえ、平成26年4月25日に公表した業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異及び平成27年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	624,050	539,223
売掛金	138,577	135,782
有価証券	10,133	10,134
商品及び製品	3,799	6,660
前払費用	9,165	19,376
関係会社短期貸付金	150,000	150,000
その他	8,760	15,824
貸倒引当金	△227	△274
流動資産合計	944,260	876,727
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,874	8,547
工具、器具及び備品(純額)	11,830	9,856
リース資産(純額)	1,820	1,430
有形固定資産合計	22,525	19,833
無形固定資産		
ソフトウェア	11,231	9,702
その他	1,014	957
無形固定資産合計	12,245	10,660
投資その他の資産		
敷金及び保証金	41,350	41,350
その他	6,229	55,397
貸倒引当金	△2,096	△2,096
投資その他の資産合計	45,483	94,650
固定資産合計	80,253	125,144
資産合計	1,024,514	1,001,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	45,170	37,690
未払金	25,607	20,514
未払法人税等	9,128	8,450
未払消費税等	9,882	9,940
前受金	13,873	11,478
前受収益	92,128	115,910
その他	5,672	6,649
流動負債合計	201,461	210,633
固定負債		
退職給付に係る負債	1,351	1,559
その他	1,092	682
固定負債合計	2,443	2,241
負債合計	203,905	212,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,624	347,788
資本剰余金	983,073	983,236
利益剰余金	△514,018	△545,598
自己株式	△778	△778
株主資本合計	815,901	784,648
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	4,708	4,348
純資産合計	820,609	788,997
負債純資産合計	1,024,514	1,001,871



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	519,339	489,231
売上原価	304,546	289,669
売上総利益	214,792	199,561
販売費及び一般管理費		
役員報酬	28,366	28,931
給料手当及び賞与	83,553	81,365
法定福利費	13,171	13,251
広告宣伝費及び販売促進費	7,327	8,195
賃借料	11,850	11,707
支払報酬	10,678	10,737
減価償却費	6,234	4,373
その他	48,854	52,823
販売費及び一般管理費合計	210,036	211,386
営業利益又は営業損失(△)	4,756	△11,824
営業外収益		
受取利息	1,059	1,086
無効ユニット収入	686	412
その他	511	-
営業外収益合計	2,256	1,498
営業外費用		
証券事務取扱手数料	3,199	3,769
その他	583	819
営業外費用合計	3,782	4,588
経常利益又は経常損失(△)	3,229	△14,914
特別利益		
新株予約権戻入益	729	252
特別利益合計	729	252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	3,959	△14,661
法人税、住民税及び事業税	2,901	7,405
法人税等調整額	152	174
法人税等合計	3,054	7,579
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	905	△22,241
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	905	△22,241

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	905	△22,241
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	905	△22,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905	△22,241
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,959	△14,661
減価償却費	8,730	6,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	83	47
長期前払費用償却額	896	873
退職給付引当金の増減額(△は減少)	274	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	207
受取利息及び受取配当金	△1,059	△1,086
売上債権の増減額(△は増加)	△28,080	2,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,736	△2,860
仕入債務の増減額(△は減少)	7,573	△7,480
前受収益の増減額(△は減少)	9,907	23,782
その他	△9,220	△22,054
小計	△1,199	△14,198
利息の受取額	125	147
法人税等の支払額	△1,893	△7,751
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,967</b>	<b>△21,801</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△10,478	△3,852
定期預金の増減額(△は増加)	△18	△10,016
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△10,497</b>	<b>△13,868</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	-	△8,983
リース債務の返済による支出	△409	△409
その他	-	220
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△409</b>	<b>△9,172</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,874	△44,842
現金及び現金同等物の期首残高	402,469	435,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	388,595	390,950

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	221,651	188,413	109,274	519,339	—	519,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	580	—	5,810	6,391	△6,391	—
計	222,231	188,413	115,085	525,730	△6,391	519,339
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,232	14,701	△3,797	4,671	84	4,756

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額84千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	iLearning 事業	Learning 事業	人材紹介・派遣 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	192,298	196,129	100,803	489,231	—	489,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	—	1,002	1,302	△1,302	—
計	192,598	196,129	101,806	490,534	△1,302	489,231
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△36,225	13,533	10,782	△11,909	84	△11,824

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額84千円は、未実現利益の調整額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。